



～2025-26年度主題～

国際会長 エドワード・オン (SG) “Faith, Love, Action”
 アジア太平洋地域会長 田上 正 (熊本むさしC) “信念と愛をもって行動しよう！”
 東日本区理事 山下 真 (十勝C) “ワイズらしさ再発見”
 かながわ部長 兵藤 芳朗 (鎌倉C) “共に歩み 交流を深め、部の「絆」を強めよう”
 クラブ会長 坂口 直樹 “お互いを理解し誰かの役に立つ！”

今月の聖句

わたしは世の光である。
 わたしに従う者は暗闇の中を歩か
 ず、命の光を持つ。

ヨハネによる福音書8章12節

11月の本例会

日時：11月21日(金) 17:30～

場所：かけはし都筑

司会：鈴木茂 受付：鈴木恭子

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング・信条 一同
3. 今月の聖句と祈禱
4. 会長挨拶
5. ゲスト・ビジター紹介
7. 卓話 田中博之さん
「今そしてこれからの私たち」
8. 行事予定・各種報告
 - ① 11月以降の行事予定
 - ② 報告：区・部・YMCA等
9. Happy Birthday
該当者なし
10. スマイル・アピール
11. 閉会点鐘 会長

※懇親・会食会
 センター南「ヴァンサン」

クラブ役員一覧

会長 坂口 直樹
 副会長 今城 高之
 書記 今城 宏子
 会計 鈴木 茂
 直前会長 鈴木 茂
 監事 辻 剛

巻頭メッセージ

「所謂 “Man” を出さしめよ」

辻 剛

先 日何気なく本棚の整理をしていたら「本多庸一 信仰と生涯」(氣賀健夫著、2012年)、「本多庸一先生 昇天百周年記念シンポジウム(基調講演/氣賀健夫、2012年)」、「青山学院中等部の卒業アルバム」、がでてきた。アルバムをめくっていたら中3のときの担任だった氣賀健夫先生(前・田園都筑・田園江田教会会員)を始め沢山の先生方からひとと言書いていただいている。担任の氣賀先生からは「早く『男』になれ！！」「早く」とは時間的な早さを意味するものではない。いつになっても良いから「男」なる日をまっている。その時ばくは君と握手しよう。1954年3月18日 氣賀健夫」という送別のコメントを見つけた。



ところで本多庸一先生は第2代院長として文部省がだしたキリスト教の儀式廃止命令に対し息の長い対政府折衝を根気よく続け約2年で訓令の実質的棚上げを勝ちとり、青山学院のみならず多くのキリスト教学校を存亡の危機から救ったり、大変多くの事をなしとげた人物です。

今回、本を読みかえしたところ本多先生は沢山のことばを残していますが、その中の一つにつぎのようなものがあります。「希くは神の恵により吾輩の学校より所謂 “Man” を出さしめよ。Manの資質多くあるべしと雖もSincerity, Simplicity 最も大切なるべし。」という文章は、今日まで青山学院の教育目標を端的に表現した言葉と知られています。

話にもどりますが、私は氣賀先生が亡くなるちょうど1週間前に神様に導かれるように入院先の病院にお見舞いに伺いました。病室に入ったとき、先生はぐっすりと眠っておられました。しばらくすると目を開けて「誰？」と問われたので「辻」です、とお答えしました。すると右手をゆっくり挙げて、握手を求めるような動作をされましたので思わず私も先生の手をしっかりと握りました。その後はほとんどお休みになっていました。しばらくしてそろそろおいとましようとしたらその気配を察したのか、また突然手を高く上げて握手をしようと差し込まれました。驚いて私もまた先生の手を握り返しました。その時の先生の柔らかく暖かい手のぬくもりは今でも残っていて忘れられません。その握手はただ単にお見舞いに来てくれてありがとう、というような握手でなくなんとも言えない感動を受けたことをよく覚えています。先生はそのとき70年前に卒業アルバムに沢山の卒業生のアルバムに添え書きした言葉などおぼえておられなかったでしょうし、私の頭の片隅にもありませんでした。(完)

(10月のデータ)

例会出席	10名	在籍会員数	16名
メンバー	9名	月間出席者数	10名
ビジター	—	メ・キャップ	1名
ゲスト	1名	月間出席率	68%

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

第13回 You & I コンサート

今城高之記

昨年9月28日に開催した第12回コンサート終了直後から準備を開始してきた第13回コンサートが、去る11月1日（土）開催されたので概要を報告します。

◆会場のこと

コンサート実施チームにとって、最大の問題は会場の手配です。地域には、わたくしたちのコンサートに適した会場が沢山ある訳ではありません。幸いにも、地元の横浜市都筑区には600人余り収容可能な公会堂があり、第1回コンサートから、12回目まで、引き続いて公会堂を使わせて頂きました。実は、それも容易ではなく、希望する日時にイベントが集中すると、応募者間の抽選となります。選外となると、改めて別の日で挑戦する、といったプロセスになります。初回は私たちも抽選会に参加し、希望した日時は叶わず、再挑戦しました。2回目からは、幸いなことにコンサートを区役所が後援していただけることになったため、優先的に会場を割り当てていただけることになり、その苦勞から解放され現在に至っています。区役所の後援を取り付けることに奔走した、初代の事務局長、林茂博さんには本当に感謝しています。

ところが、本年は、その公会堂が改装のため休館となり、コンサートの開催が危ぶまれましたが、幸いなことに、本年3月に新たに開館した「都筑区民文化センター」通称、“ボッシュホール”が区役所のお計らいで使えることになった結果、今回の素晴らしいコンサートの開催が可能となりました。ただ、ボッシュホールの座席数は、公会堂の約半分で、定員が厳しく守られるため、いつものようにできるだけ大勢の方々に呼びかけてご来場を仰ぐことができず、新たに予約制度を導入したため、開幕直前までやきもきさせられました。結果、入場者数は来場者260名、ボランティア30名（主催者発表）という、素晴らしい状況となりました。

◆演奏者とプログラムのこと

今回も演奏を担って下さったのは、佐藤大輔さん（フルート奏者）を代表とする「横浜室内合奏団・歌劇団」でした。第1回目から今回まで、13回出演して、毎回、素晴らしい音色で来場者を魅了して下さいしています。10名編成の内訳は、フルート、クラリネットの木管各1と、ヴァイオリン2とヴィオラ、チェロ、コントラバス各1です。時々、チェロ奏者変わったことはありましたが、ほかのメンバーは初回から参加して下さっている方たちです。

この演奏会の特徴は、来場者がそれぞれ自分のスタイルで音楽を楽しむことができることであり、来場者の多くを占める、障がいのある方や幼い子供さんたちが、手をたたいたり、足を踏み鳴らしたり、声を出したり、普通のクラシックコン

サートでは許されないことでも気にしないということを了解事項としており、演奏者も、それに対して深い理解を示してくださっていることです。とはいえ、いったん演奏が始めると、ほとんどの来場者が極めて静かに、美しい音色に耳を傾けて下さる様子に、我々スタッフも感動させられます。もっとも、後半の自作のオペラが始まると、楽しく面白い内容に、皆さん、おなかを抱えて笑いこけるシーンも見られます。演奏内容は、できるだけ誰もが知っているクラシックの名曲と、ネオクラシック楽曲、アニソンなど、みんなが楽しめる曲目を選んで下さっています。

また、途中の場面で、子どもたちが舞台上に上がって、楽しい曲に合わせて行進する場面が用意されており、このコンサートの目玉となっています。今回は、後半のオペラの中で、「王様のご招待で、お城を訪ねる」シーンが用意されていました。10年前、小さかった子どもが大きくなっても行進を楽しんでいる姿は微笑ましく、子どもたちの良き思い出となることを願っています。

◆ボランティア・スタッフのこと

このコンサートの運営は、地域で障がい児・者の福祉に携わる4つの団体と横浜北YMCA、我々つづきワイズの6団体で構成する「You & I コンサート運営委員会」が行っており、事務局をつづきクラブが担っています。事務的な準備作業はほとんど我々事務局で行いますが、一番肝心な、来場者への呼びかけは、関係団体が積極的に行って下さっており、そのおかげで、毎回、ほぼ一定数の来場者が参加して下さることになります。

開催当日は、運営委員会にほか、属するメンバーがそれぞれ役割を担ってくださるのに加え、近隣のYMCAから大勢の（毎回10数名）スタッフが参加して下さい、いろいろと必要な裏方作業を引き受けて下さっています。準備の中で、それなりの力作業もあり、高齢化が進む、クラブメンバーや委員会メンバーだけでは、到底実施困難なところ、大いに助かっています。

◆来場者のこと

このように、1年間かけて準備をし、様々な方法でご案内して開催当日を迎えるコンサートですが、お客さんがいなければ、どんな努力も無駄に帰します。おかげさまで、今回も、会場がほぼ埋まるほどの皆さんが来て下さいました。運営委員会メンバーの努力の賜物です。また、かながわ部を中心に、ワイズの仲間も大勢ご来場下さいました。ご自分たちで、同様のコンサートを持とうといった動きもあることも知りました。この活動が、もっと広がればいいと心より願っています。皆様、本当にありがとうございました。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

foto Album



開幕を前に、ボランティア勢ぞろい



受付の態勢も整いました



開会挨拶、坂口会長



いつもながらの美しい音色



子どもたちも舞台
に上がりました



ボッシュホール



メインイベントは打ち上げ？

データ編
入場者数合計
290名
来場者
260名
ボランティア
30名

案内チラシ



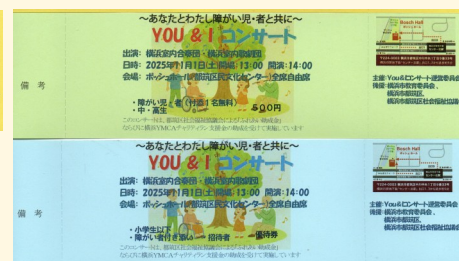
開会式・オリエンテーション



プログラム



チケット



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《第13回You&I コンサート感想》

横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ
会長 坂口直樹

長きにわたり当クラブが主催運営してきた第13回You & I コンサートが今年完成したボッシュホールで開催された。ほぼ定員の300人近くの来場者があり横浜室内合奏団の美しいクラシック音楽を心穏やかにみんなで楽しみました。私は会長挨拶の大役を仰せつかり気が気ではありませんでしたが、当クラブのハートあるいはソールと言える存在のコンサートを、来年につながることができたことに満足しメンバーと参加者全員に感謝します。

《横浜YMCAチャリティーラン参加報告》

10月18日(土)チャリティーランが開催されました。会場のみなとみらい臨港パークの天候は前日まで心配されましたが、大会当日は開始と共に好天に恵まれ、晴れ気温25度の絶好のスポーツの日となりました。当日はチャリティーランの聖地である「臨港パーク」に幼児から一般まで67チームが集合して大いにラン（走ること＝楽しむこと）を楽しみました。この大会は、横浜YMCA主催の障がいのある青少年を応援するイベントで、スピードを競う競技でなく、幼児から大人まで、障がいを持つ方も健常者もそして応援者も楽しく過ごす大会でした。収益金は障がいのある青少年のためのプログラム支援金として活用されます。当クラブからは、鈴木ワイズ、今城ワイズ、坂口ワイズの3名がボランティア参加しました。大会運営委員長でパリパラリンピック銅メダリストの富田 宇宙さん（400m自由形と100mバタフライ銅メダル）の挨拶の中で「スポーツの最終目的は自身の成長」との言葉が印象的でした。大会終了後かながわ部ワイズ有志は、みなとみらいで世界のビールをいただきながら大いに懇親とかながわ部の連携を楽しみました。（坂口 直樹 記）

<写真リンク>

<https://drive.google.com/drive/folders/1iqp99PWjOhH4qIHcE8hR6Ak1q3AwyFav?usp=sharing>



かながわ部の参加者達

《つづきクラブ本例会 卓話のご案内》

つづきクラブ11月の本例会には、田中博之ワイズをお招きし、卓話をさせていただきます。皆様、奮ってご参加ください。

日時：11月21日*（金）17:30～

*）通常の開催日より1週間早まりますのでご注意ください。

場所：かけはし都筑

卓話：田中博之さん

「今そしてこれからの私たち」



～略歴～

1953年生まれ。兵庫県宝塚市出身、元損害保険会社社員。日本バプテスト同盟・池田バプテスト教会会員。

趣味：写真、バードウォッチング

<ワイズ歴>

2000年に東京クラブ入会。東京クラブ会長、東新部部長、東日本区では国際・交流事業主任、横浜国際大会事務局長、IT委員長、ITアドバイザー、書記、理事（2014-15年）、監事（2021-23年）、チーム・イノベーションリーダー（2023-24年）等を務める。国際協会/アジア太平洋地域では、地域会計、IBC事業主任、ASF事業主任等を務め、2018-20年、国際議員/アジア太平洋地域会長。2016年に東京多摩みなみクラブ（現東京多摩スマイルクラブ）にチャーター書記として移籍。

現在は、国際協会ではTOF委員会委員長、マニュアル審査委員会委員、アジア太平洋地域ではLTOD事業主任、地域開発委員会副委員長等を務めている。

<YMCA歴>

小学3年生の時に神戸YMCA余島キャンプに参加して以来、YMCAとは60年以上の関わりを持つ。東京YMCAでは東京/フロストバレーパートナーシップ委員会委員長、会員部運営委員会副委員長、西東京センター運営委員会委員等を務める。2017-24年、日本YMCA同盟評議員/常議員、退職金・年金基金委員長（以上）



横田OBも一緒に

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

横浜北YMCAでは、菊名小学校放課後キッズクラブを運営しています。11月3日（月・祝）に、横浜北YMCAで開催された「横浜北YMCAチャリティーフェスタ」では、菊名小学校放課後キッズクラブに在籍する子どもたちの中から11名の子どもたちがボランティアとして参加しました。ボランティアの中には菊名小学校の卒業生もあり、卒業生としての頼もしい姿を見せてくれました。キッズクラブのブースでは、プラ板工作やスノードーム作り、クリスマスオーナメント作りの3つの工作コーナーを実施しました。プラ板工作のコーナーでは、好きな絵柄を選んでプラスチック板に写し描きし、焼いて仕上げます。沢山の絵柄の中からお気に入りを選び子どもたちの姿が、とても楽しそうでした。スノードーム作りでは、ビンの中にビーズやスパンコールを入れ、ラメと洗濯のり、水を合わせた液体を注いで完成させます。洗濯のりに絵の具で色をつけるアレンジもでき、世界に一つだけのスノードームを光にかざして喜ぶ子どもたちの笑顔が印象的でした。また、クリスマスオーナメント作りのコーナーでは、番号のついたパーツをボンドで貼り合わせて完成です。子どもから大人まで、夢中になって取り組む姿が見られました。友だち同士やご家族で訪れ、にぎやかで温かい雰囲気の中、たくさんの笑顔があふれる一日となりました。

（横浜北YMCA 竹内 夏海）

～横浜北YMCAチャリティーフェスタ開催報告～

11月3日（月・祝）、横浜北YMCAにて「横浜北YMCAチャリティーフェスタ」が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、会場では子どもたちによるゲームコーナーや蚤の市、子ども用品の販売、模擬店などが行われました。YMCA会員の皆さまや地域の方々など、約800名が来場し、楽しく交流する姿が見られました。

当日の募金総額は約30万円にのぼり、温かいご支援に心より感謝申し上げます。

また、前日の蚤の市準備にご協力いただいた坂口直樹様、当日のコーヒー販売を担当して下さった鈴木茂様、蚤の市販売にご尽力くださった鈴木恭子様をはじめ、多くの皆さまのご協力に深く感謝いたします。

（横浜北YMCA 館長 森山 真治）



You&Iコンサート アンケート結果抄録

会場で実施したアンケートのは100通余りの回答をいただきました。

“手前みそ”のご批判は甘んじてお受けするつもりで一部をご紹介します。

Q1:この4コンサートをどのようにお知りになりましたか

地域作業所	11
教会	6
YMCA	2
新聞・マスコミ	1
インターネット	1
チラシ	2
友人・知人	48
ボランティアの人	6
その他	13
有効回答者数	90

Q4:今回のコンサートの評価をお願いします。

1. 満足	76
2. ほぼ満足	17
3. ふつう	0
4. やや不満	0
5. 不満	0
有効回答者数	93

Q7: コンサートのプログラムについておたずねします。

1. 満足	73
2. ほぼ満足	19
3. ふつう	2
4. やや不満	0
5. 不満	0
有効回答者数	94

Q8: 次回開催時にはまたお越しくださいますか。

1. 必ず来る	40
2. たぶん来る	52
3. たぶん来ない	3
4. 来ない	0
有効回答者数	95

《コメント》

Q1:コンサートの開催を知ったのは、圧倒的に「知人・友人」経由との回答が多い。

広報努力も必要ですが、様々な機会ととらえて「友人・知人」への周知が必要。

Q4:回答者全員が「満足・ほぼ満足」の回答を寄せてくださいました。更なる満足向上に努めましょう。

Q7:プログラムの内容についてもご来場者の支持をいただきました。演奏家の皆さんに感謝です。

Q8:来年（2026年）も開催することになるでしょう。本当にうれしい限りです。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《例会報告》 2025年11月度事務例会

今城 宏子 記

日時：2025年11月11日（火）17:30～19:15

場所：夢カフェ

出席：今城T・H、坂口、鈴木K・S、辻Ts、森山

1. 開会点鐘

会長より挨拶があり、第13回コンサートが無事終了したことへの感謝が述べられた。来場者数はちょうど良い規模であったとの総括があった。

2. 協議・検討事項

① 第13回 You & I コンサート振り返り

(報告：今城T)

- € アンケート集計結果が共有された。
- € 収支報告が行われ、募金総額は **38,977円** となった。募金は北YMCAと当クラブで折半し、国際協力募金として献金する。
- € 次回（2026年）の開催候補日は **11月7日（金）・11月14日（金）** とし、必要な手続き後、都筑公会堂の予約を行う。

② つづきクラブ設立20周年記念会について

- € **2026年6月20日（土）** に北YMCAで開催することを決定。
- € 当日参加者への記念品は**革製の銘入り栞**とし、担当は鈴木S。
- € 記念誌については、記念会と同日の発行にこだわらず、内容を整えた上で発行する。担当：坂口会長、今城T
- € 記念誌の寄稿依頼先として、以下の関係者へ依頼する方針を確認： 東日本区理事、かながわ部部長、横浜YMCA総主事、歴代会長・歴代担当主事等（担当：鈴木S）
- € 当クラブからは「20年を振り返って」各メンバーの一言を掲載する。担当：辻Ts

③ 卓話予定

€ **11月21日（金）本例会** 卓話者：田中博之氏

3. 今後の行事予定 () 内はブリテン報告担当

- **11/19（水）** TKBカード作り 15:30～ @夢カフェ
- **11/21（金）** 本例会 7:30～ @かけはし都筑
司会：鈴木S／受付・報告：鈴木K
- **11/22（土）** かながわ部大会 17:30～
@湘南とつかYMCA（鈴木S）
出席予定：今城T・H、鈴木S、辻Ts（¥ Zoom）、森山
- **12/2（火）** Y-Y's協議会 19:00～
@中央YMCA（鈴木S）
- **12/9（火）** - 事務例会 17:30～ @夢カフェ
- クラブクリスマス会 18:00～ @夢カフェ（今城T）
会費：2,000円 交換プレゼント：700円程度
※コンサート運営委員にも案内する

3. 活動報告・連絡事項

① 横浜YMCA

森山北Y館長より「2025年チャリティーフェスタ」終了の報告があった。また、当日コンサート募金についても報告された。

② かながわ部

部行事「鎌倉歴史散歩」が開催され、参加者募集中との連絡があった。

4. 遅れての誕生日プレゼント

10月生まれの会員2名へ、遅れていた誕生日プレゼントが贈られた。欠席の鮫嶋さんには後日お渡しする。

5. 閉会点鐘

坂口会長の点鐘により閉会。有志5名で近隣の店舗にて会食が行われた。 (以上)

《第13回You&Iコンサートによせて》

第13回コンサート 場内アナウンス担当 今城 宏子

You & I コンサートは子供たちだけでなく、地元の高齢の方々にも大人気です。かつて、私が一緒に活動させていただいた民生委員・児童委員の方々は毎回楽しみに待っていてくださり、お友達を誘って参加して下さいます。コンサートの趣旨に賛同して応援して下さいていることは本当に感謝です。高齢化に伴い都心のコンサートに行くのは難しいけれど、近くの会場で素敵な音楽を聴く機会は本当に嬉しいと言ってくださいます。また、思いがけずミニ同窓会(?)にもなって、年に一回、お互いに元気に過ごしていることを確かめ合う機会になっているようです。来年のコンサートも、又、元気で参加していただきたいと心から願っています。

…編集後記…

▽年間最大のクラブイベント、You&Iコンサートが終わると、ロス症候群の様相を呈したいところですが、実は、直ちに次年の準備、会場確保が始まります。ブリテンの編集と相まってのんびりとはしてられません▽寒さが厳しくなりました。あの夏の酷暑をちょっぴり懐かしく思ったりします。一方、インフルエンザの感染拡大の報に急ぎインフルのワクチンを接種しました。皆様も、くれぐれもご自愛ください▽年末に向け、ワイズの行事も部大会を残すのみ。活動の場は教会に移る季節です編集子の所属教会は、盛り沢山のクリスマス行事が計画されているので、忙しい日々の訪れを感じています▽ブリテンもあと一回で年が変わります。 (編集子)

“To acknowledge the duty that accompanies every right”